

1966年 Super Cub C50 スーパーカブ C50

シリーズの主力モデルであるスーパーカブ C100 をフルモデルチェンジし、OHV から OHC エンジンに進化した「スーパーカブ C50」。

OHC 化によって出力特性と静粛性を向上させ、最高出力は 0.3PS 高い 4.8PS を達成しました。灯火器類は、大型のヘッドライト、テールランプ、ウインカーを採用して、視認性と被視認性を向上。量産効果によって従来モデルに対して 2,000 円高の 57,000 円というお求めやすい価格を実現しました。

主要諸元

全長×全幅×全高(mm)	1,795×640×975
エンジン形式	空冷 4 ストローク OHC 単気筒
排気量(cc)	49
最高出力(PS/rpm)	4.8/10,000
車輻重量(kg)	69
最小回転半径(m)	1.8
乗車定員(名)	1
変速機型式	前進 3 段常時噛合式
クラッチ型式	湿式多板自動遠心式
タイヤサイズ	前:2.25-17 後:2.25-17
燃料消費率(km/L)	90 (30km/h 定地燃費値)
フレーム型式	バックボーンプレス式
価格(円)	57,000